

2001.11月号

新世紀ひらつかルネッサンス事業

東海道宿駅制度400年記念

巡回展「二宮・大磯・平塚を結ぶ道-東海道-」

今年は、慶長6年（1601）、東海道の伝馬制度が制定されて400年の記念の年になります。博物館では、大磯町郷土資料館との共催により「二宮・大磯・平塚を結ぶ道-東海道-」をテーマに巡回展を実施しています。

二宮、大磯、平塚の二町一市を結ぶ幹線は、東海道が唯一の幹線で、それは今も昔も変わりありません。残された資料から東海道の役割と、それぞれの宿の実態をご紹介します。

会期：11月3日（土）～12月23日（日）

開館時間：9時～17時 ただし金曜日は19時まで開館します。

休館日：月曜日

会場：平塚市博物館特別展示室



明治14年頃の平塚宿江戸見附（マリサ・ティ・ルツソ氏所蔵／平凡社提供）

この写真は、明治10年から4年間、日本に赴任していた全権イタリア公使であったバルボラーニ氏が帰国 の際、持ち帰り秘蔵していた写真です。この写真をもとに、市は見附を復元しました（現見附町市営駐車場の一角）。復元された見附は、間口1.5m、奥行き3.6m、高さ1.6mの石組みに土盛りをして竹矢来を組んでいます。

東海道の成立

慶長5年（1600）、徳川家康は関ヶ原の合戦に勝利すると、翌慶長6年から本格的に全国の主要交通路の把握とその整備に着手します。まず、最初に手がけたのが東海道です。慶長6年正月、東海道沿いの集落（村）に出了された2通の文書「伝馬朱印状」と「御伝馬之定」は、以後、その集落（村）が宿・宿場として徳川氏により公認されたことを示し、公用の役人をはじめ、幕府が認めた通行者に対し、馬や人足を無賃で提供する義務（伝馬役）を負うことになりました。

馬や人足を無賃で提供する義務を負った宿は、その義務を負担する代わりに代償として負担する馬数に相当する伝馬屋敷が与えられ、地子（領主が賦課する地代＝年貢）が免除されます。また、独占的に物資を輸送することや旅人の宿泊が認められました。しかし、地子が免除された屋敷には、屋敷の間口に応じて馬役・歩行役=伝馬役を負担させ、宿が無賃で提供する馬や人足の費用に充てたのでした。

慶長6年に制度化された伝馬制は、1宿に36匹の伝馬を常備させ、朱印状を持つものだけに馬を提供することが義務つけられたものです。一般に東海道五十三次（宿）といわれますが、慶長6年段階で五十三次（宿）すべてが成立したわけではありません。たとえば、神奈川県下9宿のうち、神奈川宿、保土ヶ谷宿、藤沢宿、平塚宿、大磯宿、小田原宿は慶長6年に宿として成立したのに対し、戸塚宿は慶長9年に宿となり、箱根宿は元和2年（1616）、川崎宿は元和9年にそれぞれ宿に定められています。

徳川氏は東海道に統いて、慶長7年には中山道を整備します。東海道、中山道はいうまでもなく江戸と京都・大阪を結ぶ主要道です。この時期、西国を完全に手中にしていたわけではない徳川氏にとり、東海道・中山道の両街道は、軍事的にも政治的にも最も重要な道路であったといえます。やがて、徳川氏は全国制覇の過程で次々に他の街道も整備し、後に、東海道・中山道・日光道・奥州道・甲州道を併せて五街道と呼ぶようになりました。

街道の整備には、伝馬制の制定のほか一里塚が設けられ、並木が植えられて交通の利便が計られます。一里塚は日本橋を起点に一里毎に設けられた塚ですが、道標としての役割も果たしていました。また、並木は旅人にとって陽光から身を守るものであり、宿と宿の間の町屋が途切れる街道の道路界の代わりとなるものでした。宿の施設には、伝馬を掌る問屋が設けられ、伝馬に掛かる一切の事務を職掌します。また、宿泊施設には本陣・脇本陣・旅籠屋があり、本陣には原則として一般旅人の宿泊は禁止されました。人為的に街道には軍事的な目的から関所が設置され、大河川には架橋しないという障害物を設けはしましたが、箱根山中の石畳、急坂の土留木による階段施設、宿と宿の間の立場の設置など、江戸時代の街道は、交通組織や施設が十分に整備された時代ということができます。その街道の中心が東海道でした。



明治14年頃の大磯宿（マリサ・ディ・ルッソ氏所蔵／平凡社提供）

大磯宿のうち、神明町付近から高麗山方向を見た写真。大磯宿の町屋の屋根は、板葺（鳥が、羽を広げたように見えることから「鳥葺」といわれた）が特徴といわれます。

箱根火山が三重式の火山であることはよく知られています。箱根火山の始まりは50万年前にさかのぼり、溶岩や火碎物を交互に噴出してかつては2700m程の富士山型のきれいな火山を作っていました。それが火碎流の噴出により大陥没して、現在見られる明神ヶ岳～金時山～丸岳～湖尻峠～箱根峠～白銀山に連なる古期外輪山（カルデラ）を生じました。その後13万年前頃から屏風山・浅間山・鷹巣山に代表される厚い溶岩をカルデラの内側に流出しました。7～5万年間頃に、おびただしい火碎流を流出し、二度の大陥没を起こしました。このときの火碎流は平塚市土屋遠藤原などで見られる他、相模川を横切って横浜にまで達しています。その後4万年前頃から神山を中心として、二子山・駒ヶ岳などが中央火口丘として、粘りけのある溶岩を流出して、お椀を伏せたような山を作りました。最も新しい活動は、3100年前に神山で起こった水蒸気爆発で、大涌谷がその名残なのです。この爆発により発生した山崩れはかつてあった、仙石原湖を二分して、南側に芦ノ湖を作りました。

今回の寄贈品コーナーでは、こうした箱根火山の成り立ちをひも解く岩石や鉱物などを紹介しましょう。



3100年前の神山山崩れにより生まれた仙石原と芦ノ湖

「プラネタリウムで宇宙を学ぶ会」のお知らせ

☆私たちは広い宇宙のどこにいるのか。この先、宇宙はどうなるのか。

☆宇宙って果てしなく続いているものなのか、それとも果てがあるのか。

☆ブラックホールに吸い込まれることがあるのだろうか。

など、宇宙にたいする疑問にお答えしよう、という企画です。

プラネタリウムを使って最新の宇宙像をご紹介しながら、それでもまだまだ知られていない宇宙のかなたの謎を考えましょう。

会場：博物館三階プラネタリウム室

**日程：11月21日、12月5日、19日(野外1日)、1月16日、2月6日、20日(夜間)、3月6日、20日 計8回
午後1時30分から3時**

・12月19日（野外1日）は三鷹市の国立天文台に出かけます。

・2月20日（夜間）は博物館で午後6時から8時まで星を見る予定です。

定員：50名

お申し込み：往復はがきで、住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえ、11月10までに「プラネタリウムで宇宙を学ぶ会」担当あてお送りください。

博物館カレンダー

<平成13年11月>

1 木	☆ 寄贈品コーナー「箱根火山展」(～11月29日)	展示室
	展示解説ボランティアの会	特研室
2 金	古文書講読会	講堂
3 土	☆ 秋期特別展「二宮大磯平塚を結ぶ道」(～12月23日)	特展室
4 日	民俗探訪会「道祖神の大わらじを訪ねる」戸塚区 水辺の楽校生きもの調べの会	戸塚区 相模川
7 水	民俗探訪分科会	横内
8 木	石仏を調べる会	特研室
9 金	古文書講読会	講堂
10 土	○ 考古学入門講座「地域の考古学」 ○ 漂着物を拾う会 ☆ プラネタリウム「しし座流星群」(～11月18日) ○ 星を見る会「しし座流星群案内」 天体観察会「しし座流星群案内」	講堂 虹ヶ浜 プラネ室 屋上 ^上 屋上
11 日	地質調査会	科学室
15 木	展示解説ボランティアの会	特研室
16 金	古文書講読会	講堂
17 土	地質調査会	野外
18 日	○ 特別展記念連続講座「東海道」 ○ ろばたばなし	講堂 展示室
21 水	民俗探訪分科会 裏打ちの会 ○ 宇宙を学ぶ会	大神 科学室 プラネ室
22 木	石仏を調べる会	特研室
24 土	平塚の空襲と戦災を記録する会 ○ 考古学入門講座「地域の考古学」 プラネタリウム番組を作る会	特研室 講堂 プラネ室
25 日	古代遺跡を探す会「バスツアー」 相模川の生い立ちを探る会「鎌ヶ岳と七沢石」	栃木県 厚木市

☆：展示（無料） プラネタリウム（観覧料）

○：申込制 ◎：自由参加 無印：会員制

<展示とプラネタリウム>

☆ 東海道宿駅制度400年記念巡回展
「二宮・大磯・平塚を結ぶ道－東海道－」
会期：11月3日（土）～12月23日（日）

☆ 寄贈品コーナー「箱根火山展」
箱根火山の岩石と鉱物を展示します。
会期：11月1日（木）～11月29日（木）

☆ プラネタリウム
・ 「アンドロメダ銀河」

銀河系のとなりに位置し、中心に双子のブラックホールが見つかるなど、最近再び注目されるアンドロメダ銀河について解説します。

期間：12月2日（日）まで

投影日：土日曜日の11時と14時

・ 特別投影「しし座流星群」

今年はしし座流星群の活発な活動が予想されています。流星群の見方などを特集してご案内します。

投影日：11月10,11,17,18日の11時と14時

<会員募集>

○ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会

プラネタリウムを使って、わかりやすく現在の宇宙の姿を学習する会です。活動日や募集要項などの詳細は本紙3頁をご覧ください。

<平成13年12月>

1 土	☆ 寄贈品コーナー「生物部門」(～12月27日)	展示室
2 日	○ 特別展記念連続講座「東海道」 地質調査会	講堂 野外
5 水	民俗探訪分科会 宇宙を学ぶ会	大神 プラネ室
6 木	展示解説ボランティアの会	特研室
7 金	古文書講読会	講堂
8 土	◎ 漂着物を拾う会 ☆ プラネタリウム「2002年の天文現象」(～2月3日) ◎ 星を見る会「冬の星座と土星」 天体観察会「冬の星座と土星」	虹ヶ浜 プラネ室 屋上 ^上 屋上 ^上
9 日	水辺の楽校生きもの調べの会 民俗探訪会「民俗講話」	相模川 講堂
13 木	石仏を調べる会	特研室
14 金	古文書講読会	講堂
15 土	○ 体験学習「お飾りを作ろう」 天体観察会「ふたご座流星群」(～16日)	講堂 天文台
16 日	○ 特別展記念連続講座「東海道」 古代遺跡を探す会「分布調査」 ◎ ろばたばなし 相模川の生い立ちを探る会「小仏層の模式地」	講堂 土沢 展示室 景信山
19 水	民俗探訪分科会 裏打ちの会 宇宙を学ぶ会	特研室 科学室 プラネ室
20 木	展示解説ボランティアの会	特研室
21 金	古文書講読会	講堂
22 土	プラネタリウム番組を作る会	プラネ室
25 火	プラネタリウム番組を作る会	プラネ室
26 水	プラネタリウム番組を作る会	プラネ室
27 木	プラネタリウム番組を作る会	プラネ室

<参加者募集>

○ 体験学習「お飾りを作ろう」

新薦で一文飾り、垂れ飾り、宝船、星の玉など平塚の伝統的な正月飾りを作ります。なお玄関用の玉飾りは作りません

日 時：12月15日（土）10時～15時

場 所：博物館講堂

講 師：海老澤宏氏

持ち物：半紙、カッターナイフ、ハサミ

定 員：50名（薦に限りがあるので多数の場合は抽選します）

申 込：往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し
11月30日までに申し込む

○ 漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えたりします。

日 時：11月10日（土）9時30分～11時

場 所：平塚虹ヶ浜海岸

参 加：自由（ただし、初めての方は往復はがきで申し込む

○ 星を見る会「秋の星空としし座流星群案内」

アンドロメダ銀河や球状星団、二重星の観察のほか、18日～19日ころ極大となるしし座流星群の観察案内をします。

日 時：11月10日（土）19時～20時30分

場 所：科学教室・屋上

参 加：自由

○ ろばたばなし

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。

日 時：11月18日（日）(1)13時30分～ (2)15時～

場 所：展示室民家

参 加：自由